

中央アジア・コーカサス地域等産業協力・企業間交流セミナー
「エネルギー・トランジション分野における日本とカザフスタンの協力の可能性」の開催事業
実施報告書

2026年3月
(一社)ROTOBO

(1)特別セッションのテーマと目的

近年の国際情勢の激変により、日本への石油・天然ガスを含む天然資源の安定的供給は、ますます重要な課題となっている。将来にわたる安定的な資源確保のため、豊富な石油・ガスの埋蔵量を有する中央アジア・コーカサス諸国との関係強化により、エネルギー供給源の多角化を図っていく必要がある。

本事業は、石油・ガスおよびその関連分野を含む、高度技術移転による経済構造改革推進、またカーボンニュートラル対応への日本の貢献の可能性を現地の官民にアピールすることにより、日本企業の進出と総合的な日本のプレゼンス拡大に資することを目的とする。

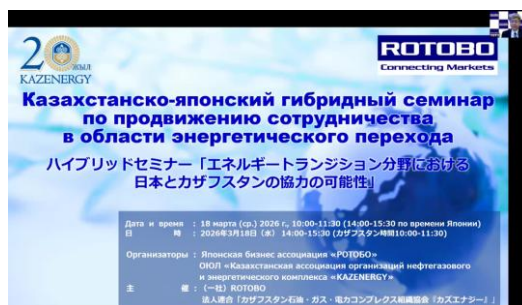
本年度は、法人連合「カザフスタン石油・ガス・電力コンプレクス組織協会『カズエナジー』」の協力を得て、エネルギー・トランジション分野における二国間協力の具体的な方向性および有望分野について議論するセミナーをハイブリッド形式にて開催し、エネルギー分野における日本の技術的優位性と、協力の効果を現地側にアピールした。

(2)セミナー実施概要

- ◆日時： 2026年3月18日（水） 10：00-11：30
- ◆場所： カザフスタン共和国アスタナ市 ヒルトンガーデンインアスタナ ホール「ガーデン1」
(およびオンライン配信)
- ◆主催： 一般社団法人ROTOBO
法人連合「カザフスタン石油・ガス・電力コンプレクス組織協会『カズエナジー』」
- ◆言語： 日本語及びロシア語（同時通訳、一部逐次通訳）

時間	プログラム
14:00-14:10	日本側主催者開会挨拶： 中居 孝文 (一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所 所長
14:10-14:15	カザフスタン側主催者開会挨拶： ダミル・ナルィンバエフ 法人連合「カザフスタン石油・ガス・電力コンプレクス組織協会『カズエナジー』」エネルギー発展部門局執行責任者
14:15-14:25	石井 秀彦 日本国経済産業省 通商政策局 ロシア・中央アジア・コーカサス室長 「エネルギー・トランジションに向けた日本とカザフスタンの協力の可能性」
14:25-14:40	アイスル・ドサノヴァ アイスル・ドサノヴァ 「カズエナジー」環境規制局長 「カザフスタンにおけるエネルギー・トランジションの取り組み」
14:40-14:55	渡辺 潤 (一社) 海外環境協力センター (OECC) 業務部門プロジェクトリーダー 「JCMの最新動向」
14:55-15:10	ケンジェハン・アブオフ アジア開発銀行 (ADB) カザフスタン現地事務所シニアプロジェクトオフィサー 「カザフスタンにおけるエネルギー・トランジションメカニズム導入に係るADBの取り組み」
15:10-15:30	質疑応答/閉会

セミナーの様子



以上